

企業情報PRシート



株式
会社

小原建設

Obara Construction Co., Ltd.

事業所名

〒 024 — 0004

所在地

岩手県北上市村崎野15-312-8(村崎野駅から徒歩1分)

企業HP

<https://www.obara-c.co.jp>



(株)小原建設の若手が
仕事のアレコレを語る!!

QRコードから、スマホでラジオ音源を
聴くことができます。



自社の強み(事業内容・社風・働きやすい職場づくりへの取組など)

◆IT技術を駆使して道路や橋、堤防などの建設や補修、工場や倉庫を建築する総合建設会社です。売上は58億円を越え、岩手県内の建設会社 約4,300社のうち7位になると共に、高い利益も残す地域のダイヤモンド企業です。
◆他社から欲しがられる技術者育成に定評があり、10代・20代の若手や女性が東京・首都圏に就職しなくとも、当社ならITを駆使した2刀流の建設技術者になる環境が整っています。その証拠に東北の建設会社約36,000社の中から9社だけが認定されたICTサポーターに国から認定されました。働きやすい職場づくりを目指し、会社のトップ自ら、残業・休日作業を削減する宣言をしています。

学生に求めていること

(学生時代にやってほしい・身につけてほしいことなど)

普段の学校生活や部活動などを通して、挨拶や礼儀は身に付けてほしいですが、名刺の受け渡し、メールのマナーなどの社会人に必要な作法・ルールは新人教育計画にあるので、ご安心を!

入社1年目の1日のスケジュール

〈建設技術職:例〉

8:00 朝礼、今日の作業予定打合せ

9:00 測量、写真撮影

12:00 昼休憩

13:00 午後の作業打合せ、午前の続き

15:00 建設CADデータ作成

17:00 事務処理・明日の作業予定打合せ

17:30 退社

未来図(標準的なキャリアパス ～業務経験や異動等について～)

入社直後



(3) 年後



(10) 年後

約3か月間に及ぶ当社オリジナルの新人研修を行います。社会人になる心構え・マナー・会社の方向性・施工管理基礎研修に加え、将来に向けてのマネプラン教育も行います。研修後は、年齢の近い先輩と行動を共にして、ドローンや3次元設計データ作成などのITを中心とした最新建設技術を習得していきます。

東北トップクラスと言われる最新の建設技術を習得し、現場監督が手放したくない人材に成長している事と思います。毎年入社してくる新入社員教育係も担当している事でしょう。

現場監督になり、大型工事のマネジメントを担当している事と思います。国家資格を多数所有し、入社から常に最新の建設技術に携わった経験、監督補助で培ったマネジメント経験が融合し、どこでも通用する2刀流の建設技術者に成長している事でしょう。

先輩からのメッセージ(記入者:Mさん。個人情報保護の為、イニシャルにします。令和4年 岩手県立黒沢尻工業高校卒)

〈入社理由〉

◆正直に話すと、売り上げが大きい事、若い社員が多い事、離職率が低い事がきっかけでしたが、小原建設を研究しているうちに、岩手に本社を置く建設会社でありながら、東北トップクラスの建設技術力を持っている事を知りました。
◆採用選考前に行われた会社見学で、ドローンやGPSを搭載した半自動運転が出来る重機を操作させていただきました。
◆若手には、ITを中心とした新技術を中心に身に付けさせた上で、時間をかけて建設現場監督に仕上げていく育成方針に魅力を感じ、志望しました。

〈入社して良かった点〉

◆小原建設は岩手県内の建設会社売上ランキングが7位と、極めて上位だけでなく、高い利益を残す仕組みがあるので、安心感が格別です。
◆他社が導入していないIT新技術を続々と導入しているので、同級生と会った、自分が一歩先行く建設技術者に成長していると感じています。
◆毎年、新入社員が入社してくるので、年齢の近い若い社員が多いですし、先輩達は真面目で控えめな方が多いので、安心して働けます。
◆定期的に若手同期会を開催してくれ、和やかに近況を話したりして、楽しんでいます。

〈仕事のやりがい〉

◆半永久的に未来に残る壮大なもののづくりに携わる事が出来ます。
◆意外と知られていませんが、地震・台風・土砂崩れなどの災害時の復興復旧に役立っている事も、やりがいを感じています。東日本大震災での小原建設の活躍・貢献は国から表彰を受けています。
◆身近で教育してくれる先輩から、任される仕事が多くなってきた事を、うれしく感じています。一昨年より去年、去年より今年と、着実に会社や社会に役立っていると感じています。

〈地元就職のよさ〉

学生生活と違い、横のつながりより縦のつながりを重視しなければならぬ社会人生活を想定した時、家族や同級生、出身校の先生など相談しやすい存在が身近にいる地元就職がベストだと思います。
コロナ感染者が全国で最後に出た事が証明しているように、真面目な県民性と、仕事が終わったら、オンオフ切り替えてのんびりできる地元就職をおすすめします!(東京で大学4年間を過ごした先輩談)

ホームページ



きたかみ仕事人図鑑

